

令和 2 年 11 月 27 日

都道府県鍼灸師会 保険部長 各位

(公社)日本鍼灸師会 健保委員会

小林潤一郎

療養費支給申請書(11/25 厚労省通知) について

お世話になっています。

11/25 付け厚労省の通知に申請書が複数ありました。

ご存知とは思いますが、念のため説明させていただきます。

○受領委任通知にある申請書

マッサージ用の申請書の書式が一部変更になりましたので示されました。申請書の右上に「様式第 6 号の 2」と記載されています。はりきゅう用は示されていませんが「様式第 6 号」です。

ともに 10 ケタの施術管理者の登録記号番号を記載します。

「様式第〇号」と付いている書式は、他にもありますが、原則は受領委任に参加している保険者に提出するものです。

(代理受領の保険者によっては、この書式を認めている場合もあります)

○留意事項通知にある申請書

別添 1 (別紙 4) はりきゅう用、別添 2 (別紙 4) あん摩・マッサージ用この 2 点は、免許番号を入れることになっており、一般の施術者が使う償還払いや代理受領の保険者向けのものとお考えください。

(償還払いの場合は、保険者が独自に用意していることもあります)

しかし、日鍼会を含む 4 団体の会員は 14 ケタの施術者登録番号を入れる様式を用いることになっていて、本通知には入っていません。

受領委任が始まる前に 4 団体会員が使用していたもの、また現に代理受領の保険者に使用しているものです。その書式は、『療養費の支給基準 令和元年 10 月版』の 266 ページにマッサージ用が 323 ページにはりきゅう用が掲載されています。

以上は、申請書についての原則です。各鍼灸師会においては、保険者とのや

り取りの中で積み上げられてきている内容もあろうかと思しますのでその取扱いはお任せ致します。

今回、あん摩・マッサージ用の申請書は、変形徒手矯正術がマッサージの加算であることが明確になり、一部書式が変わりました。

現行のものをしばらくは取り繕って使用してよい、とのことでした。

12 月の申請書から、変形徒手矯正術を含む施術の請求にあたり、マッサージの単価 350 円×部位数に変形徒手矯正術の単価 450 円×肢数を加算する形で記載をし、変形徒手矯正術の施術部位を摘要欄に記載することで、新書式の内容をカバーできると考えています。